

広岡 宥樹 議員

地球温暖化防止への 思い切った取り組みを

Q 問 国、財界が経済原理にこだわる状況の下で、地方が国際機関の警告を重く受けとめ、地方として最大限の努力をすることが求められているが、どう受け止めているか。

A 答 現在、袋井市環境基本計画の策定作業を進めている。その中に行政として実効性のある施策を取り入れていきたい。

Q 問 袋井市における二酸化炭素の排出量、吸収能力の数値目標は持てるか。

A 答 排出量の削減目標数値については、袋井市環境基本計画の中で設定していく。また、森林、農地や里山の保全などにより、緑化を推進する。

学校図書館司書の全校配置を

Q 問 学校司書(図書館サポーター)配置(現在4人)についてのこれまでの評価と全校配置の考えはどうか。

A 答 図書館サポーターによる活動は読書活動推進に有効に機能している。図書館司書は、市単独措置でしか雇用できない状況であるが、1人でも2人でも増員できるように全力で取り組んでいきたい。



「緑と太陽と親子の集い」で行われた温暖化防止キャンペーン

戸塚 文彦 議員

平日夜間一次救急医療の 今後の見通しは

Q 問 掛川市では、センター化し、来年度から急患センターを開設するが、そのような検討を当市でもすべきでは。

A 答 袋井市・掛川市新病院建設協議会の協議結果を含め関係機関と十分な協議を行い、よりよい方向性を検討していきたい。

ゲリラ豪雨対策は

Q 問 避難勧告・指示は、どのタイミングで決断し、どういう方法で住民に的確に伝えるか。

A 答 的確な発令ができるよう警戒態勢を強化していきたい。住民への伝達方法としては同報無線、広報車による広報、電話により連絡を行うこととしている。また、他の情報媒体も活用していきたい。

豊沢地区開発の事業見通しは

Q 問 計画されて以来、地権者に一度も状況説明会を実施していないが、その理由は。

A 答 説明会を行うに当たり、一步でも進んだ報告ができるよう努力してきたが、いい結果が得られず現在に至っている。近々のうちに状況説明をしていきたい。



洪水ハザードマップ